



統計スポット情報

No. 52

13.7.31

福井県総務部情報政策課

最近の労働時間と給与の推移について

今回は、皆さんが働いている時間および給与について、近年どのように変化してきているのかを、「毎月勤労統計調査地方調査結果年報」からみていきたいと思ひます。

この調査の対象は、常用労働者を常時5人以上雇用する事業所です。

平成7年から平成12年における、総実労働時間についてみてみましょう。

(図1)

平成8年から10年にかけて総労働時間は減少していましたが、平成11年、12年は増加しています。平成12年の一人平均月間総実労働時間は、158.4時間となっています。

次に、所定外労働時間についてみてみましょう。(図2)

減少していた所定外労働時間ですが平成11年、12年は増加に転じています。平成12年の一人平均月間所定外労働時間は8.7時間で前年比7.1%となっています。

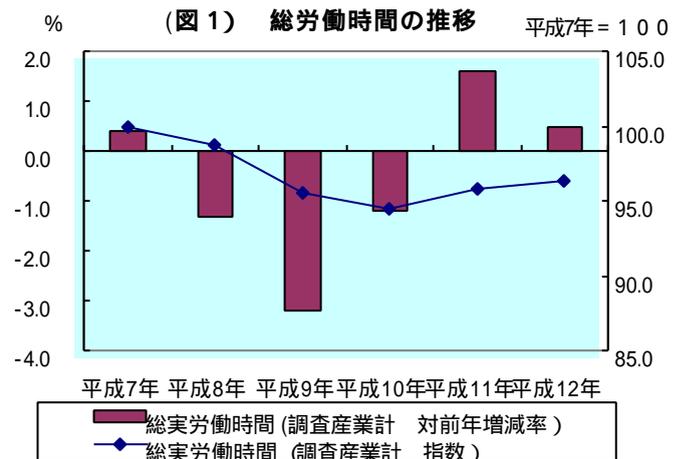
特に景気の動向と関係の深い製造業の所定外労働時間は平成12年には対前年比13.3%と増加し、9.7時間となりました。

それでは、給与についてみてみることにします。(図3)

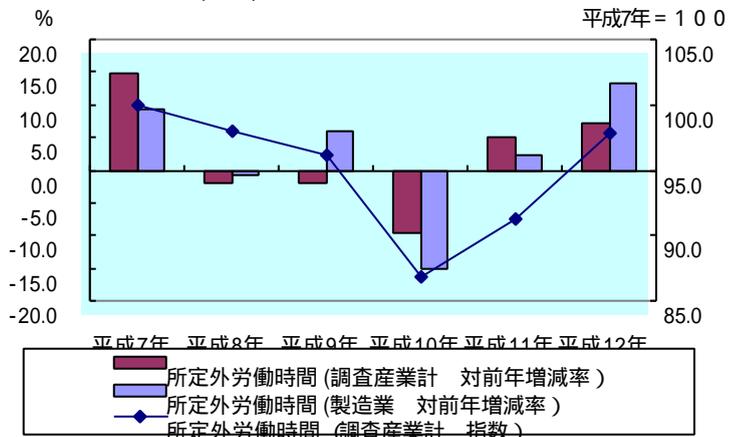
平成12年の一人平均月間現金給与総額は、328,031円で前年比変わらずでした。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は263,399円で前年に比べ0.2%増となりました。きまって支給する給与についてみると、平成9年に減少となったものの、その後緩やかな増加傾向にあるといえそうです。

(注) 指数については、平成7年平均=100とし、グラフでは右軸で表示しています。



(図2) 所定外労働時間の推移



(図3) 現金給与額の推移

